

月刊

熊本・宮崎・鹿児島のルアー・船・磯・川の総合FISHING LIFE MAGAZINE

# 南のつり

7  
2014

YAMATURU  
熊本釣り情報

お得な  
乗船割引クーポン  
プラス  
無料乗船券  
プレゼント!!

特集

## 梅雨グロ 始動

### 錦江湾オススメ デカチヌ釣り場

石鯛高活性!!

カラーグラビア

大海原に竿が弾み、心が弾む!!「第3回江藤拓」杯  
/宮崎県北門川

溪流に遊ぶ/熊本県球磨郡川辺川

つり福丸 御所浦沖のキス釣り/八代海一帯

梅雨グロ入れ喰らう!!/甕島里一帯

遠矢流! ノッコミ終盤でも

まだまだ釣れる、良型クロダイ!!/鹿児島県片浦港

竹島高活性!/薩南諸島一帯

甕島インダイ

口白に魅せられて/屋久島

いよいよ梅雨グロ爆釣チャンス!!/甕島一帯

イサキ猛ラッシュ!!/天草荅北沖

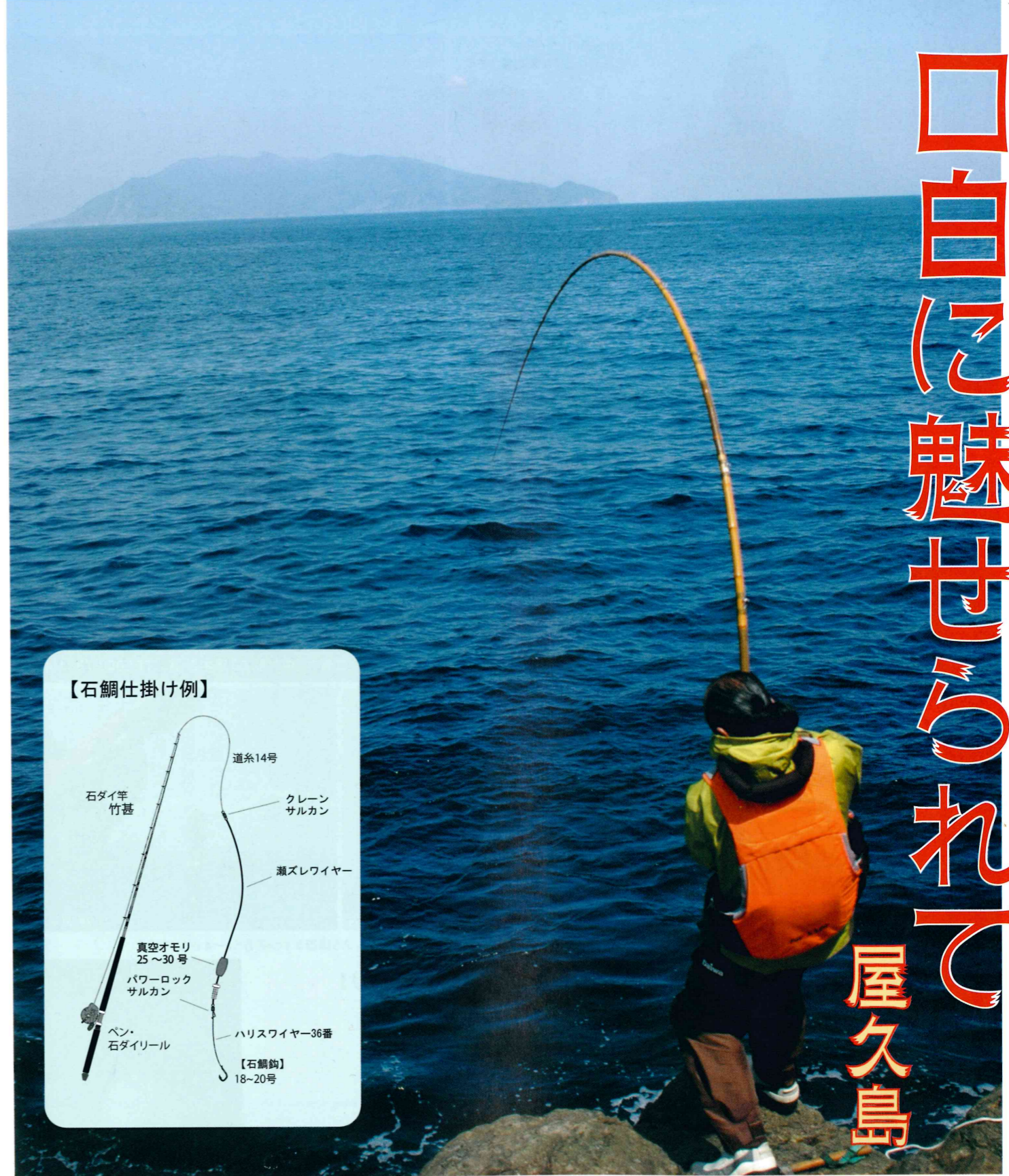
桜島13番避難港釣行記

釣遊ウオッチング

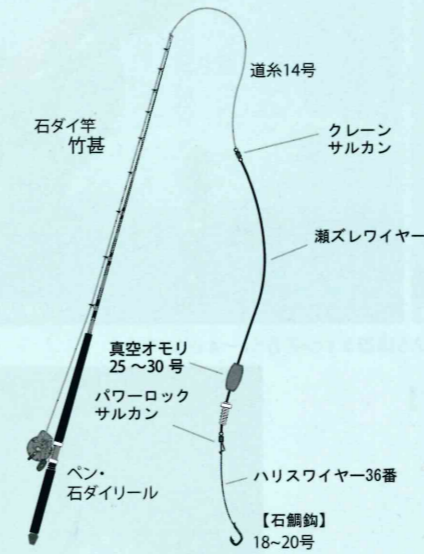


# 口白に魅せられて

## 屋久島



【石鯛仕掛け例】



▲口白の強烈な締め込みに、竹製の竿(竹甚)が根元からしなる。底物釣りの醍醐味!沖に浮かぶのは口永良部島

世界遺産の島として知られる屋久島は、縄文杉等への登山のほかにも、魚種の多さが日本で一番と言われるほど多種多様な魚が釣れることでも有名で、とくに近年は周辺を流れる黒潮の海水温の上昇のためか、一年を通して大型口白のヒット率も高く、日本中から70〜80センチオーバーの口白石ダイを狙いに来るが、今年は5月中旬現在、若干海水温は低めに推移している様子。

5月のゴールデンウィーク中も口白石ダイの自己記録の更新しようとする石ダイ釣師が屋久島の各釣り場で竿出しをしていた。

取材当日の5月7日、屋久島の北西部に位置する永田灯台周辺にあるユルギ瀬に大阪から釣行してきた関西荒磯釣友会会長の岡井さんと上磯。この一帯は沖に浮かぶ口永良部島との間を70センチオーバーの口白が回遊してくるポイント。

岡井さんは20数年前から石ダイ釣りにハマり、70センチオーバーのデカパン狙いで八丈島や島根県の沖の島、種子島や奄美大島などに釣行し奄美大島のA級ポイントのトンバラ岩では78センチの自己記録を釣り上げた経験があり、石ダイ釣りは力勝負が魅力の一つと磯焼けした笑顔で語ってくれた。

当日の潮は寄せて釣る底物釣りにはあまりよくない当り潮で、午前6時過ぎの上磯時からウニのマキエがなかなか効かず、5時間経った午前11時過ぎにようやくマ



▲永田岬周辺のユルギ瀬で60センチオーバーの口白を釣り上げた大阪から釣行した岡井さん



▶半山下のナルセで良型口白石5尾の好釣果は大阪から釣行の末田さん



▲永田周辺の磯や口永良部島等の離島へ渡してくれる第3葵丸(柴船長)

キエが効き始め、石ダイがウニエサをくわえては吐き出しているコツコツと竿を叩く底物独特の力強い緊張感のあるアタリが続くなか、「石ダイは小さいのから喰ってくる、以前、4人で並べて竿出した時も潮上の人から徐々にサイズアップしたことがある、ここは辛抱とアタリにあわさずにマキエを切らさずに大型のアタリをまつんや」として小1時間後に竿を絞り込む本命のアタリ、写真の様な60センチオーバーの大型口白を釣り上げた。

午後からは北西の風が強まり風裏のない永田周辺の磯では釣りにならない海況となり残念ながら釣果はこの1尾となった。このユルギ瀬の北側に隣接する半山のナル瀬でも50〜40センチサイズの口白石ダイ計5尾の好釣果が上がっていた。

一方、屋久島周辺の海域では4〜5月に藻が海面に浮遊して藻じやこ漁が始まり、それとともにブリ等の回遊魚が磯や堤防で釣れはじめる、写真の大型ブリは屋久島町吉田の堤防で日高さんがジギングで釣りあげたもの。

そのほか、クロ、ハタ、オナガ、シマアジ、ロウニンアジ、シブダイ等様々な釣魚が年間を通して狙える。また、船釣りからのジギングでも一年中カンパチの大型が釣れている。まさにこの屋久島は海、山ともに生命力溢れる島。鹿児島港からもフェリーで4時間程、高速船で2時間弱で行ける身近な夢の離島なので是非一度は釣行してみよう。



▲永田岬周辺のユルギ瀬から半山を望む、豊かな森が屋久島の魚を育てる



●取材協力  
つり具の岩川  
TEL 0997・42・0747  
屋久島フィッシングガイド・田中誠  
TEL 090・8767・2640  
渡船・第三葵丸  
TEL 0997・45・2255



▲吉田の堤防で大型ブリを釣り上げた屋久島在住の日高さん